

産経新聞 2021年1月4日 「ひこばえ倶楽部」への投稿掲載

(令和2年度入学) 高校1年(六か年コース) I組 宮崎 稜也 君

「虫捕り」と聞くと、どこか幼い感じがする人が多いかもしれない。だが、僕はその虫捕りが好きだ。電車に乗ってよく山へ行く。道中、「あいつ、いい年をして虫網持ってるぞ」という視線で見られている気がする。しかし昆虫採集は奥深く、むしろ年を重ねれば重ねるほど楽しめるものだと思う。

昆虫採集をする理由の一つは標本作りだ。特にチョウの標本はもはや宝石箱。家に飾ってあるとおしゃれに感じる。そのためにするのが虫捕りなのだ。

欲しい虫のいる時期や場所を調べ、リュックサックに瓶を詰め、虫網を用意し、時が来たら行く。目当ての虫が捕れればとてつもない達成感を得られる。捕れなければまた山に登る。

こうして目当ての虫を見つけ、捕りに行き、標本にするというサイクルが出来上がる。すると、もうやめられない。長期休暇は気付けば山へ行っている。